





◇ 行 政 視 察 概 要 ◇

委 員 会 名	議 会 運 営 委 員 会	
委 員 名	[委員長] 廣瀬 孝人 [副委員長] 谷尻 宣雄 [委員] 面村 好高 [委員] 野村 健 [オブザーバー] 議長 小中 昭	[委員] 木戸 徳吉 [委員] 大町 功 [委員] 川勝 儀昭 [オブザーバー] 副議長 仲村 学
視 察 先	愛知県知立市	岐阜県多治見市
視 察 日 時	H28. 8. 3 (水) 午後1時30分 ~ 午後3時00分	H28. 8. 4 (木) 午前10時 ~ 午前11時30分
調 査 事 項	議会基本条例の具体的な運用等について (議員間討議、議会報告会等) 議会運営について	議会基本条例の具体的な運用等について 議長・副議長の立候補制について 議会運営について
教 示 内 容 等 ( 抜 粋 )	知立市では、議会基本条例制定に向けた背景などの説明を受けました。市民から議会改革の必要性に迫られ、先進地の取組を視察し、議論を重ねてられました。 自由討議の機会を設けたことで、条例の一部修正や付帯決議を付けることにつながったことや知多市議会基本条例の特長点についての説明をいただきました。 さらに、予算決算委員会を常任委員会化した話や委員会で出前講座を実施して、団体との話し合いの機会を作られたことなどを聞かせていただきました。	多治見市では、議会改革のうち、特に請願については、委員会で請願者の意見陳述ができるよう、一年間の施行を踏まえて本格実施され、市民参加の機会を確保されています。 また、市民から広く意見を聞く機会として、市民と議会との対話集会を開催されています。これは、市民と議員とが自由な意見交換の出来る場を設けてより良いまちづくりに貢献したいという思いからされています。 実施していく中での課題を見出し、解決するために、まず議会として興味のあるテーマを設定することやテーマごとに会場を設定するという、そして、車座方式に変更して実施するようにされています。 また、議員が学校に出向いて中学生や高校生との対話集会も行っておられます。
	南丹市議会においても議会基本条例に基づき、市民に分かりやすい議会運営を行っていくために、参考となる研修となりました。	
写 真		

◇ 行 政 視 察 概 要 ◇

委 員 会 名	議 会 活 性 化 対 策 特 別 委 員 会	
委 員 名	[委員長] 松尾 武治 [副委員長] 大町 功 [委員] 山下 秋則 [委員] 野村 健 [オブザーバー] 議長 小中 昭	[委員] 木戸 徳吉 [委員] 廣瀬 孝人 [委員] 井尻 治 [委員] 森 鳥次 [オブザーバー] 副議長 仲村 学
視 察 先	神奈川県小田原市	神奈川県厚木市
視 察 日 時	H28. 4. 21 (木) 午後1時30分 ~ 午後3時30分	H28. 4. 22 (金) 午前10時 ~ 正午
調 査 事 項	議長・副議長の立候補制について 委員会の公開状況について（経過等）	議長・副議長の立候補制について 通年議会について
教 示 内 容 等 (抜 粋)	<p>小田原市では、議長選挙における所信表明演説についてと議会改革に関連する広報広聴常任委員会の取り組みについて説明を受けました。</p> <p>現在は、議長選挙においてのみ、所信表明演説の取り組みを試行的にされていますが、検証された結果、更に試行されることになりました。</p> <p>議長の所信表明演説を実施することにより、議会の意思決定の可視化や所信に沿った議会運営などの効果があるとのことでした。</p> <p>広報広聴常任委員会では、議会改革による議会の見える化の必要性が言われるようになり、多様な広報広聴媒体を活用し、広報広聴の充実に向け取り組まれています。（市議会だより、ホームページ、議会報告会、市議会に関するアンケート、ケーブルテレビ）による議会中継、委員会の映像配信等）</p>	<p>厚木市では、議長・副議長の立候補制についてと通年議会について説明を受けました。</p> <p>議長・副議長の立候補制については、議長から議会運営委員会へ平成21年10月の諮問の中で、議会運営の在り方ならびに議会における議論の在り方、市民への議会広報の在り方の検討の項目の中で、表明の機会を設けるか否か等について協議されました。その諮問に対する答申を受け、立候補表明に関する実施要綱を整理したうえで、実現されています。</p> <p>通年議会については、平成21年10月に設置した議会の在り方検討会で、一度は検討の遡上には上ったが、時間的な制約から協議には至らなかったとのことでした。</p> <p>諮問項目として、具体的に取り上げられたのが、平成23年10月の諮問からとなります。議会側だけの思いでは導入できないので、行政側との調整や議会側での検討を重ね3年をかけて実施することにされました。議長が、会派代表者会議で報告し、議会運営委員会での承認のもと、関連議案を可決し、平成27年1月から通年議会を導入されました。</p>
	議会改革の推進に努め、より一層「開かれた議会」を目指し、市民に分かりやすい議会となるような取り組みを研修することができました。	
写 真		

◇ 行 政 視 察 概 要 ◇

委 員 会 名	広 報 特 別 委 員 会	
委 員 名	[委員長] 谷尻 昌史 [副委員長] 鞆岡 誠 [委員] 前田 義明 [委員] 木戸 徳吉	[委員] 柿迫 正紀 [委員] 松尾 武治 [委員] 廣瀬 孝人 [委員] 野中 一秀
視 察 先	愛知県犬山市	岐阜県可児市
視 察 日 時	H28. 11. 16 (水) 午後1時30分 ~ 午後3時00分	H28. 11. 17 (木) 午後1時30分 ~ 午後3時00分
調 査 事 項	議会の広報広聴の取り組みについて	議会広報の編集について
教示内容など (抜 粋)	犬山市では、平成22年に議会改革推進委員会設置以降、積極的な「情報公開の促進」に取り組まれています。とりわけ動画共有サービス「ユーストリーム」による全委員会の生中継や、「フェイスブック」を利用した市民からの意見聴取など、インターネットを活用した「広報公聴」が進められています。また、議会に関心を持ってもらう工夫として、著名な講師を招いての意見交換会など、市民への様々なアプローチの手法が印象的でした。	可児市では、平成27年に広報紙のタイトルを「議会のトビラ」に変更し、紙面構成もリニューアルされました。QRコードによる動画配信への誘導やグーグルカレンダーによる日程の公表など、市民に議会を知ってもらうための、様々な取り組みを伺いました。また、平成28年4月にはホームページを全面リニューアルし、音訳データの提供も行われています。多様な広報媒体を駆使し、市民に伝えたい、自らが常に変わりたい、という姿勢や熱意に感銘を受けました。
	両市とも、議会改革の取り組みが有名であり、議会広報においても「できることから即実施する」というスタンスの重要性を実感した視察となりました。	
写 真	